

東海岸地域サンライズ推進協議会

令和7年度事業

1. サイクルイベント事業
2. サンライズベルト構想に関する勉強会
3. 先進地視察研修
4. 今後の協議会活動について

1. サイクルイベント事業

令和元年度に設定したサンライズ自転車ルートを活用し、サイクリングを通して東海岸地域の活性化を図ることを目的として、サイクルイベントを実施しました。

開催日：3/1(日)・・・中城村、北中城村周遊ルート

参加者：30名 (30名定員)



Sunrise
東海岸地域
サンライズ推進協議会
主催・実施

**中城城跡サンライズ
ウォーク&サイクリング
2026**

～Have a nice day in the morning sun!～

朝日を見ながら
中城城跡の歴史もわかるよ！

2026. 3. 1 日 6:00 (受付)
～11:00

世界遺産
中城城跡の
歴史ガイド付き

※少雨決行、荒天中止

集合場所 中城村城跡 受付

参加条件 交通法規を守り、リーダーの指示に従うことができる方。
参加者とみんなで楽しめる方

コース 中城城跡にて、朝日を感じながらウォーキングを実施したあと、海岸線をガイド
付きでサイクリングするコース
※湯返あり、電動アシストおすすめ！ 自転車を押しても坂を上れるかた。

貸出し 無料レンタサイクル (ヘルメット付) はスポーツE-バイク10台
電動シェアサイクル10台をご用意しております (※先着順)

無料レンタサイクルもあり！
自転車なくても参加OK！



2. サンライズベルト構想に関する勉強会

構成町村の魅力発信と地元事業者とのつながり強化、持続的な観光資源の活用に向けた取組として、サンライズ地域の進行に関する勉強会を3回行いました。

第1回開催日：令和7年9月26日（金）

第2回開催日：令和7年11月12日（水）

第3回開催日：令和7年11月19日（水）

参加者：構成町村職員、商工会など

第1回「サンライズ地域振興に関する勉強会」

ワークショップ：東海岸地域バスツアーを計画しよう！



与那原大綱鬼資料館つなかん（沖縄県島尻郡与那原町字上与那原16番2）

学芸員からの説明および旗頭体験等



第3回「サンライズ地域振興に関する勉強会」内容：バスツアー振り返り



3. 先進地視察研修

①視察の目的・ねらい

・東海岸地域サンライズ推進協議会構成町村においての観光推進と収益性の両立をめざし、観光分野の広域化を図る事を目的として、広島県において瀬戸内DMOや尾道観光協会、廿日市市の取組について講和の聴衆や意見交換を行った。

②研修参加者

区分	所 属・氏名	区分	所 属・氏名
首 長	与那原町長・照屋 勉	職員	西原町
	西原町副町長・小橋川 健次		企画財政課・山城 宏太
	中城村長・比嘉 麻乃		産業観光課・与那覇 道
	北中城副村長・仲本 正一		北中城村
職 員	与那原町		企画振興課・仲村 洋
	ブランド推進課・臼井 洋平		企画振興課・大城 一記
	ブランド推進課・伊波 佑華里		中城村
	企画政策課・新里 博嗣		産業振興課・仲村 武宏
			産業振興課・系数 昌樹

③研修日程

10/21(火) 那覇⇒広島市 (移動)

10/22(水)

・視察①_廿日市市の取り組みについて
(廿日市市役所)

・視察②_せとうちDMOの取組について
(広島国際YMCAセンター)

・視察③_尾道観光協会(尾道第1ホテル)

10/23(木) 広島市⇒那覇(移動)

2日目 (10/22)

●「廿日市市」の取り組み及び所感

【取組】

DMO（一般社団法人二日市DM）構想

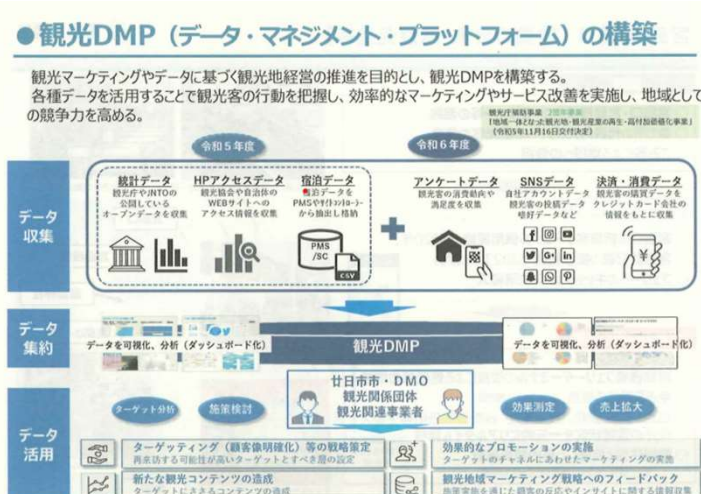
- ・ 地域全体の観光効果最大化を図るハブ機能として、既存の観光協会や商工団体を繋ぐ
- ・ マネジメント・マーケティング・プロモーションに特化

【所感】

- ・ 観光施策の重点は「域内消費・宿泊増」「データに基づく政策判断」「関係団体の調整力強化」に置かれている
- ・ 廿日市市は、観光資源の認知度に頼るだけでなく、DMOを通じた組織的・戦略的運営への転換期にある
- ・ 今後のKPI策定、データ基盤の整備、専門人材確保が成功の鍵



視察風景



廿日市市の取組



廿日市市役所前写真

2日目 (10/22)

●「せとうちDMO」の取組及び所感

【取組】

- ・ 欧米豪市場を中心にターゲティング
- ・ SNSやオンラインメディアを活用した情報発信
- ・ 外資系企業社員等を活用した英語による実践的ガイド研修
- ・ 西日本4広域DMO（関西・四国等）との連携協定
- ・ 国際博覧会やIR誘致を見据えた長期誘客戦略

【所感】

瀬戸内DMOの事例は、行政・民間・金融機関が一体となった観光地域マネジメントの好例であり、サンライズ推進協議会における観光推進の指針となる。特に、地域資源の磨き上げと民間投資の融合、サステナブル観光の推進は、当エリアでも活用可能なモデルだ。



視察風景



せとうちDMOとの集合写真

インバウンド戦略 ～トレード・メディア対応～ STA

■最重要市場国
各国の潜在的な顧客ボリュームに着目し、「市場規模」、「親和性」、「適合」の3つの観点からターゲット市場を設定しています。
・市場規模が大きく
・瀬戸内への関心の高いセグメントが多く
・国内競合の少ない国
として、以下を最重要市場国として設定
（英）（米）（独）（法）（意）（豪）
世界の旅行市場は14億人と予測されており、訪日客では東アジアが上位を占めるが、海外旅行マーケットでは圧倒的に欧・米が多い。

■現地メディア及び旅行会社との関係構築
現地メディアに対しては、対象国ごとにマーケティングエージェンシーを設置し各県と連携して各国の志向に合った情報の提供を、旅行会社に対する瀬戸内を含む商品の販売促進については、海外現地事業者等へのアプローチを図り、商品の造成、販売を促進するなど、流通環境整備に取り組んでいます。これにより、「PR」、「Promotion」、「Travel Trade」等の活動に効果的・持続的に取り組み、市場深耕を図っています。

■コンセプトに基づくブランディング
「多島美」とも評されるさらさらと輝く海と大小700以上の島々、そしてそこに暮らす人々とともに暮らす豊かな恵みをもたらす里山は織りなす景色、せとうち。せとうちブランドマーク10周年の節目に、せとうちの美しさを構成する要素に里山を追加し、「瀬戸内」から「せとうち」へ文字を変更することで、一層せとうちの魅力を集約するブランドマークへ刷新しました。

米「Forbes」掲載写真
英「The SUN」掲載写真
Public Relations (PR)
認知度向上やイメージづくりを促すため、旅行業界のみならず消費者も含め幅広く行うPR活動
Promotion
海外旅行会社等へ積極的な情報発信を行うことで、商品造成の促進を図る
Travel Trade
最終的に誘客を行う旅行事業者を対象とした和蘭ブライダル市場等
海外の有効なメディアにも毎年多数取り上げられ、SETOUCHIの認知度向上に寄与しています。
※上記は2023年度掲載の一例

1 night and 2 days
瀬戸内を1人1人の商品の造成、販売につなぐべく、旅行会社向けFAMトリップやコンテンツの提供等を実施。

せとうちDMOの取組事例

2日目 (10/22)

●「尾道観光協会」の取組及び所感

【取組】

- ・ 主な収益源は観光施設の売店、駐車場、イベント事業。
- ・ 市からの補助金割合は約3%で、大半は自主事業による営業収益。
- ・ 黒字化・収益事業の確立により、コロナ禍でも一定の持続可能性を確保。
- ・ 開発費や商品企画はふるさと納税返礼品などとも連動させ、メディア露出で売上増加につなげている。

【所感】

- ・ 補助金に依存せず、自主事業を軸とした経営モデルの構築が持続可能性につながる。
- ・ インバウンドは個人旅行中心で、言語対応・プロモーション・ガイド支援の仕組みが重要。
- ・ 関係人口や地域資源を活用した農業体験等は、地域活性化と人材確保の両面で効果がある。
- ・ 広域連携や周遊設計により、滞在時間延長と経済効果拡大の可能性がある。



視察風景



OMOUTI2施設風景



尾道観光協会の取組事例

4. 今後の協議会活動について



- 先進地視察及び勉強会を経た次年度活動へのステップアップ
：サンライズ推進協議会より 広域観光連携への委託事業を模索

令和8年度 東海岸地域サンライズ広域連携事業 業務委託概要

◎ 事業目的

2033年（5年後）大型MICE施設開業を見据え、広域的な観光連携の促進と持続可能な観光推進体制の構築を目指し、構成4町村（与那原町、西原町、中城村、北中城村）の共同による実践的事業を支援し、サンライズエリア全体の地域活性化ないしは受入環境整備へとつなげる。

✓ 対象事業の要件

- ◆ **2以上の町村**の観光関係団体等が**共同**して実施
- ◆ 広域的観光誘客・ブランディング・受入環境整備
- ◆ 事業実施期間内（令和9年2月末）に完了

★ 事業の基本方針（5本柱）

- 1. 広域連携の実践**
2町村以上が共同で取り組む事業
- 2. ボトムアップ型の取り組み**
現場主導の企画・実施を重視
- 3. 実装可能性の追求**
単発イベントではなく継続・発展可能に
- 4. 収益性の視点**
将来的な自走化を見据えた事業設計
- 5. スモールスタート**
実践を通じた課題発見と改善サイクル

📖 審査基準と配点

外部有識者を含む審査委員会にて、以下の観点から総合的に評価し採択、モニタリング、事後評価まで行います。

審査項目	評価ポイント	配点
広域連携の意義	2町村以上の連携の必然性など	20点
企画独自性・魅力	コンテンツの魅力、誘客力など	20点
実現可能性	実施体制の妥当性、スケジュール、予算の適切性	20点
継続性・発展性	終了後の継続性、収益化の見込み、自走化への道筋（※重視）	20点
地域波及効果	観光振興への貢献度、経済効果、地域活性化	15点
費用対効果	予算の妥当性、成果目標の適切性	5点
合計		100点

¥ 委託予算・期間

委託予算総額: **100万円** (予定)

📅 委託期間

契約締結日～令和9年2月28日

📅 今後のスケジュール(予定)

- R8. 4月** 要項案調整・意見交換
- R8. 5月上旬** 協議会総会（予算承認）
- R8. 5月中旬～** **募集要項公表・開始**
- R8. 7月** 書類・プレゼン審査
- R8. 7月下旬** 採択決定・契約締結
- R8. 8月～** 事業実施期間
（伴走支援あり）
- R9. 3月** 実績報告書提出・報告会